JAめまんべつ

きらり☆

JAめまんべつ

2017
9
No.853

7月27日　湖南地区にて

平成29年産　小麦の収穫終了

本年産小麦につきまして、組合員皆様の日頃の営農努力により、また各地区集団役員をはじめ、皆様のご協力を頂き、無事受入が終了致しました事、深く感謝申し上げます。

秋まき小麦は昨年8月の相次ぐ台風の影響により、作付予定圃場の変更や整地に苦労しましたが、播種時期は平年並みとなりました。しかし、その後の強雨により種子が露出するなどの被害が発生し越冬状況が心配されました。融雪後の冬損状況は極軽微な状況で胸をなで下ろしたところですが、分げつ期や開花期の低温や乳熟期の猛暑など厳しい気象経過のもと、登熟期を迎え昨年より数日早い収穫開始となりました。それらの影響により茎数不足、子実は肥大できずに若干の小粒傾向となり窒素が集中したため高タンパク傾向となりました。

収穫作業は7月27日に低台地区を中心に開始され、8月3日には町内各地で本格的にコンバインが稼働しましたが、乾燥工場への搬入は大きな混雑もないまま、8月8日に全地区の秋まき小麦が収穫完了となりました。

春まき小麦は、播種期を好天に恵まれ出芽状況も良好となり期待を高めましたが、秋まき小麦同様に気象の影響により軟弱徒長気味に経過しました。出穂期の穂数も平年並み以上に確保出来た圃場が多かったものの、乳熟期には猛暑にさらされ、生育期間が短い春まき小麦は秋まき小麦以上に細麦傾向となり、粒形の大きなものも形質が悪い状況となりました。また、収穫期の連日の降雨と濃霧、低温により収穫作業は進まず一部で穂発芽の発生が見られました。収穫期間は8月9日から開始され天候の合間をみての収穫作業となりましたが、8月14日には町内全体の春まき小麦の収穫が完了し、全体でも8月18日の乾麦の受入をもって本年度小麦の受入を完了致しました。

収量は、「ゆめちから」で296tの受入量で平均反収11.1俵、「きたほなみ」で11，915tの受入量で平均反収11.1俵、「春よ恋」で3，328tの受入量で平均反収7.1俵となりました。

冒頭の通り、極端な気象条件下での栽培管理・収穫作業となり、小麦をはじめ農作物には大変厳しい気象環境で収穫期を迎え、収穫量は昨年に及びませんでしたが、秋まき小麦につきましては今後の調整作業での歩留まり結果に期待を込めたいところです。また、休む間もなく各作物の収穫作業が本番を迎えます。農作業事故には十分注意し、出来秋には組合員皆様が笑顔で迎えられますよう御祈念し平成29年産小麦の報告とさせて頂きます。

学校教員が企業実習に来ました

今回で2年目となる教員実習は、オホーツク教育局が、採用3年目を迎えた公立学校教員を対象に異業種での職場体験を通して、地域との連携や教員の資質向上を図ることを目的として実施されています。

当JAには、北海道東藻琴高校の前道先生と北見市立南中学校の小林先生の2名が、7月31日から8月1日の3日間、野菜選果施設でのブロッコリー選別作業等の実習や施設見学、JA事業について学び研修を終了しました。

高校生が職場体験に来ました

8月7日(月)、職場体験として管内の高校生（3年）8名と引率の先生が当JAを訪れました。遠野管理課長より、JAの役割や行う事業及び当JAの概況説明などを行いました。また、社会人の先輩として今年入組した農産課の大高職員より、職場の体験談や感想を話しました。この中でJAに興味を持ち、JAに就職して活躍していただけるといいですね。

くるるの杜で販売

8月5日～6日にホクレンくるるの杜（北広島市）にて開催されたイベント『杜の感謝祭』に合わせ、JAめまんべつの青果物と加工品の販売推進PR活動を行いました。

JAめまんべつの青果物としてアスパラ・ブロッコリー・セルリー・軟白ネギ・長芋を販売。加工品として生冷や麦・生うどんの試食販売を行い、今回実演販売でお披露目した『男焼きそば』についても麺とソースがセットになった商品を販売しました。

快晴のもと行われたイベントには様々な客層が来場し賑わいを見せていました。販売した青果物は完売し、加工品については高評価を頂きました。

美味しくて品質の高いものを提供していくことで加工品のみならず、女満別農産物全体のイメージアップを今後とも図って参ります。

金融部窓口研修会

7月26日(水)、金融部職員を対象とした窓口業務の研修会が当JA会議室にて行われました。

講師としてJA北海道信連本所JAバンク推進部佐藤主事とJA北海道信連北見支所の氏家副審査役を招き、窓口対応やマナー、業務基礎知識等を学びました。今後もお客様を大切に、サービス向上に努めて参ります。

ラジコンヘリによる防除が行われました

水稲いもち病とカメムシ防除を目的としたラジコンヘリによる防除が7月下旬、8月上旬の計2回行われました。風の状況を確認しながら約150haを2班体制で行いました。今年は順調に生育が進み穂数も多いとのことでした。これから収穫期を迎え、豊穣の秋となることを願うところです。

ドローンで防除

8月上旬、本郷地区の神内利治さんの水田圃場にて、ドローンを使っていもち病とカメムシ防除を行いました。神内さんは、農業用ドローンを購入後、航空局へ飛行許可申請を行い、初フライト。もともと、趣味でドローンを導入していた神内さんは、手慣れた手つきで操作を行っていました。風の強弱に左右されますが、先進技術の一つとして注目されてます。

振り込め詐欺を防ごう

8月15日(火)、JAめまんべつ事務所前にて、振り込め詐欺防止対策啓蒙活動の一環として、網走警察署の署員による街頭活動が行われました。

近年、振り込め詐欺については悪質化かつ多様化しております。これからも不審な電話にはご注意下さい。

JAやJA関連団体へ100%就職 (平成28年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 第2回学生募集 JAカレッジ

●60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成29年4月1日現在)
●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
●試験日:12月12日・13日 ●願書受付:9月11日~11月20日消印有効

男女共学 JA、JA関連団体へ就職 ●学校見学もできます

お問い合わせ 資料請求

JAグループ職員養成校 JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
0120-918-417 JAカレッジ 検索

准組合員について学ぶ（全４回シリーズ）

平成 26 年 5 月、「規制改革会議_農業ワーキンググループ」が『准組合員の事業利用は、正組合員の事業利用の 2 分の 1 を越えてはならない』との意見を示し、農水省は平成 33 年 3 月末までに准組合員の事業利用量を規制するか否かの結論を出す予定にあります。

この規制が、利用者である准組合員に留まらず、地域の農業や経済への影響があることを認識したうえで、組合員の皆さん一人ひとりにお考え頂きたいと思います。

【第１回】　准組合員制度の成り立ち

生徒

僕のお父さんは、一般企業のサラリーマンだから、ＪＡの准組合員として出資・加入しているけど、准組合員ってどういう人を言うのかな？ＪＡは、農業者のための組織だって聞いたよ。

ＪＡは、農業者が自ら利用するために出資して設立・運営している組織だけど、地域の皆さんも准組合員として加入して事業を利用できるんだ。ただ、役員選挙権や議決権等のＪＡ運営に関わる権利は農業者に限定されている

先生

生徒

准組合員として加入すれば、地域に住んでいる僕たちもＪＡ事業を利用できるんだね。准組合員の仕組みは、どうして生まれたの？

昭和 22 年に公布された「農業協同組合法」で、組合員を『正組合員（農業者）』と『准組合員』に分けたことが、はじまりだよ。

出資をすれば誰でも組合員になれる産業組合の流れを引き継いだことが大きいよ。産業組合は農業者の組織だったけど、全国的には組合員の 3 分の 1 は地域の皆さんだったんだ。

先生

生徒

そっかぁ。もともと、地域に住む人たちのための組織でもあったんだね。でも、ＪＡ以外にもお店があったんじゃないのかなぁ？

昭和 22 年当時の農村は、商業施設や金融機関があまりなくて、ＪＡが利用できないと生活しにくいという現実的な側面もあったんだよ。

先生

生徒

なるほどね。今も昔も、地域の生活の中心にはＪＡがあったんだ。僕も働くようになったら、准組合員になってＪＡ事業を利用するよ。

平成 29 年 8 月　ＪＡ北海道中央会作成

ハッピーマイライフ 家の光
福が来る 笑顔が来る
ハッピーマイライフ♪
暮らしに役立つ家庭雑誌
家の光
12月号・1月号
購読申し込み
受付中
ハッピーマイライフ♡
12月号 第1 別冊付録
自給・環境・ライフプランで暮らしを築く
2018 家の光 家計簿(日記付き)
・家計に影響する諸制度の変更をわかりやすく図解！
・日記欄スペースを拡張、脳活ドリルもさらに充実
1月号 第1 別冊付録
旬の野菜を使った
毎日かんたん! 健康レシピ
・健康にいいアイデアレシピで定評のある料理研究家、村上祥子さんが考案した86レシピを紹介
1月号 第2 別冊付録
床爪 晋の
他人事じゃないよ! 相続講座
・相続相談のスペシャリストである東京都JA世田谷目黒の相談役による誌上講座
12月号 第2 別冊付録
家の光エンディングノート
もしものときも安心
2018 未来にのこす わたしノート
・読者・JAからの意見を踏まえ、より書きやすく、使いやすく！
・葬儀にかかる費用の目安や、遺品整理の頼み方など、コラムも充実
人・JA・地域が元気
家の光
定価(税込) ●家計簿付き12月号 1,008円 ●付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円 ●普通月号 617円

家の光 12月号・1月号購読申込み受付中

申し込み先	ＪＡめまんべつ　営農部　営農課　電話番号74－2131
申し込み期限	**平成29年10月2日（月）**
その他	**●12月号（付録1　家計簿　付録2　エンディングノート）** 正組合員の方で、購読希望の方は《無償配布》（１戸１冊のみ） 正組合員以外の方で、購読希望の方は《1,008円（税込）》 **●1月号（付録　一年中楽しむ旬の味！わが家の定番＆新定番　漬け物）** 購読希望の方は《906円（税込）》

ご不明な点がありましたら、ＪＡ営農課にお問い合わせ下さい。

一人ひとりの安全意識と仲間との「声かけ」が農作業事故を防ぎます。

こんな事故が起こっています！

トラクターによる事故

トラクターが転倒・転落し、投げ出されて機体の下敷きになった … など

耕うん機・コンバインによる事故

耕うん機をバックさせていたところ木と機体の間に挟まれた、コンバインの手こぎ作業で手を巻き込まれた … など

高所での作業中の事故

脚立での作業中、設置時のバランスが不安定だったり天板に上がったりした際に転落して頭を打った … など

草刈り時の事故

草刈り機の使用中に足を滑らせて足を切る、夏の屋外の作業で熱中症になる、雑草を燃やしていて火にまかれた … など

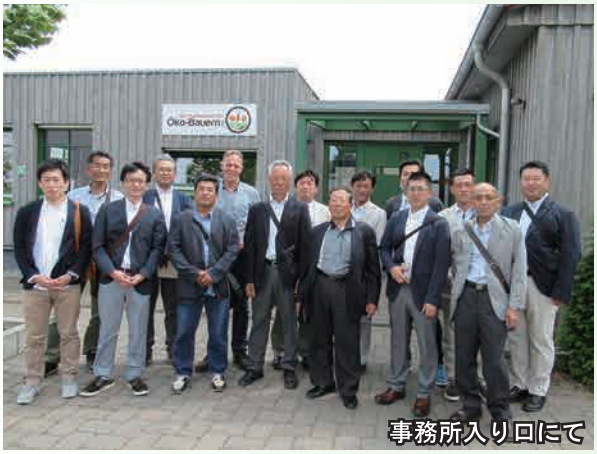
平成29年度 ホクレン中斜里製糖工場区域内 てん菜振興協議会海外視察研修

報告者　女満別町農協　理事　岡内裕之
女満別町農協　営農課長　上田健司

❶ゲノッセンスシャフト　デア　エコ　バウエン

6月23日
ドイツ（ドルトムント近郊）
説明者　ラウハウス社長

ゲノッセンスシャフト　デア　エコバウエンとは日本語で言えばオーガニック契約したエコファームで形成された共同体という意味合いで、約70戸のオーガニックな農業を行う生産者が出資し、運営されている。


事務所入り口にて

この組織は、出資者である農家が生産したオーガニック野菜の、集荷・選別・出荷を行うものであり、70戸分の生産物を集約する事により、販売契約を交わした大手スーパーチェーン（日本のダイエークラス）への安定した供給が可能となっている。

ラウハウス社長はこの組織の運営と生産者の利益を生み出すことを任されており、それを自分の役割としている。

生産規模は70戸合計で約6，000～7，000haとなり、そのうち20%は人参・馬鈴薯・玉葱などを作付けし、残りの80%は麦類で構成されている。北ドイツの農家の場合、平均100haの耕作地を所有しており、西ドイツは40～50ha、東ドイツでは300ha所有する農家もおり、経営の構造自体が違っている。

ドイツ国内でオーガニックの農産物だけを扱う組織は、こちらを含めて3組織のみであり、その他の大多数は麦類だけを扱う組織やオーガニックとそうではないものを扱う複合組織である。オーガニック野菜は比較的裕福な方が好んで購買するため、通常の野菜よりも2～3割高い価格で取引されている。

選別後のウイキョウ外品

選別後の人参外品

集出荷施設の屋根にはソーラーパネルが設置されており、ヨーロッパ地方のエコロジーへの取り組みの意識の高さを伺わせている。ドイツでは雨水税という屋根面積の広さに対する税金が存在する。企業の場合、個人よりも税単価がやすくなる。

視察させていただいた施設以外にも馬鈴薯用施設が20km離れた場所にあり、更に100km離れた場所に新施設の建設計画があるそうだ。それだけ需要の増加が見込めるという事である。

選別施設では、人参とウイキョウの選別作業が行われていた。ウイキョウとはサラダ菜のような見た目で健康志向の強い人が買う野菜らしい。選別の基準としては品質選別を行っているとのことで、選別コンベアーで流れていく出荷物の中から、穴の開いたものや大小サイズのものを抜いている。外品は全体の10～20%程度出るらしく腐れの酷いものは廃棄となるが、それ以外の外品は家畜の飼料やジュースなどに加工される。品質を要求される商品については手作業での選別も行っている。この組織から出荷された商品はオーガニッククラスNo.1を表示したラベルが貼られる。

南ヨーロッパ方面より入庫した人参土無し
見た目は良くない

生産者が収穫した農産物は木箱に詰められて施設へと搬入・予冷される。イスラエル・スペイン・南ヨーロッパ方面より搬入される農産物は洗浄され土無しの状態でフレコン詰めされる。これは輸送コスト低減のために行っていることであり、ドイツ近郊の農産物は土付きで搬入されている。

搬入される大量の農産物は需要と供給のバランスを取るために、貯蔵庫で一時保管される。2，500トン保冷可能な貯蔵庫により人参などは秋収穫したものを翌年2月頃まで貯蔵することもある。貯蔵庫の都合により、生産者が庭先貯蔵を行う場合もあり、輸送コストや貯蔵コストを考慮した価格設定となっている。

フレコン詰めで予冷庫へ

洗浄・選別後の人参

農家への代金精算は外品を抜いた選別後の出来高により支払われている。出荷物の品質等について生産者に対し厳しい要求ばかりすると出荷してもらえなくなる恐れもあり、社長としては自分の立場での考え方を優先するのではなく、どういった運営をしていけば生産者に対して最大限に利益をもたらすことが出来るのかを心がけている。

この集出荷施設では常時15名の事務員と、50名の作業員が週休1日の体制で労働している。農家からの入庫量の増減により、農繁期の約3ヶ月程度は季節労働としてポーランド人を50名ほど雇用している。

ドイツ国内の景気は良く、多くの国民は定職を持っており失業率が低い。更にドイツは1年単位での雇用と収入を保証することがルール化されているために、ドイツ人を雇うと人件費が高くなる。故に失業率が高く、収入を保証する必要もない国から必要な分の労働力を必要な期間だけ雇用する方法が合理的とされている。こういった労働力を手配してくれるエージェントも存在し、季節的に毎年稼ぎに来ている者もいるようだ。

また、社会問題となっていたドイツの難民受け入れについて、現時点ではドイツ国内で難民が働くことは許されていないが、将来的には不足している労働力の穴埋めをする存在になる可能性は否定出来ないとの事である。

選別した人参を袋詰め

この形態で小売店へ出荷

また、グローバルGAP認証を受けていることが基本となっており、認証されていなければ商談が進行しない。グローバルGAP認証を受けることは安全で品質の良い食品の農作物であると世界的に認められた証しであり、販路の拡大・生産性の向上のほかに様々なメリットが生まれてくるとのことである。これが欧州連合（EU）の目指している持続可能で生産性が高く、競争力のある農業というものに繋がっていく。

オーガニックとしての認証は国の専門機関が行うものとされており、公務員である審査官が申請要項を厳しく審査確認した後に承認される。オーガニック野菜は販売における利幅が大きく、市場からの増産に対する要望も強いとのことである。そんな状況下で俗に言う偽物が増加してしまわないように厳格な認証審査が必要とされている。

❷ホフ　ローゼナウ
6月23日
ドイツ（ドルトムント郊外）
説明者　ラウハウス社長

エコファームの畑作農家、100haの土地で40ha（人参、ズッキーニ、セロリ、フェンネル等）60ha（馬鈴薯、麦、多年性植物）作付けしている。視察時はズッキーニの収穫作業が行われていた。

圃場の奥でオーガニック
ズッキーニ収穫中

主にイタリアからの需要が多く、長さが18cm前後のサイズとなったものを収穫しているが、1日で8cm程度は成長する為、毎日の収穫が必要であり大変な作業量である。除草は手作業、肥料も自然由来の窒素分やミネラルのみを与えている。広い圃場だがすべての畦に灌水チューブが設置されている。

この時期は夜温も高く、すごく成長するため、収穫最盛期とのことだが、手作業で収穫している為に膨大な時間が必要となる。実際に作業をしている作業員の様子と収穫用農機を見たかったが、視察時間内に私たちがいる方へ戻ってくることは無かった。

オーガニック人参の圃場には、人工池が設置されており安定的な水分供給に努めている。雑草対策として播種前に圃場の土を1km3～4時間かけ焼いている。播種後、人参の芽が出る1週間前にも再度土を焼く作業を行う。生えてしまった雑草は基本的に手作業による除草を行っている。

近接しているてん菜圃場（他生産者のため正確な数値は不明）直播栽培で畦幅45cm・株間18cm、除草剤散布2回、3月下旬～4月上旬播種、9月下旬～12月下旬収穫で、平均反当たり7～8トンの収量が見込める。

白いテントのようなもので覆われ、上部のソーラーパネルにより供給される電力でゆっくりと自走する農業機械内には数名の作業員がうつ伏せの状態で乗り込み、ひたすら視界に入る雑草を除去する作業を続けていた。エアコンが効いている訳でもない暑苦しい条件下で、地面だけを見て長時間に渡り働く光景は合理的なイメージのドイツ人が行うものとは思えなかった。しかし内部で働いている者が、安い賃金で国外から来ている季節労働者とのことで納得した。

雑草多いが、これが当たり前

灌水チューブ　草で見づらい！

近接している他生産者のてん菜圃場
※オーガニックではない

ジョンディア社製のポンプ

人工池

オーガニック人参の圃場

車窓から見た手作業による除草作業

❸ホフ　ガイスラー　GbR
6月24日
ドイツ（マールブルグ郊外）
説明者　ガイスラー氏

耕作面積280ha（てん菜、大麦、小麦、飼料用作物）と、畜産業として乳牛飼育と養豚・養鶏を営み、電気を発電するバイオガス施設も所有している。実質ガイスラー氏の息子2人が経営のトップとして互いに役割を分担しながら運営している。常時雇用している者が3名（国外からの労働者1名含む）、農繁期には畑作部門で季節労働者を雇用して対応している。

発祥の地である自宅周辺では乳牛60頭と肥育豚を飼育している。古い施設システムのため人手のかからない工夫をしている。また、自宅から少し離れた場所には2012年豚用の新施設を建設、そちらでは1，200頭の豚が飼育されている。繁殖豚は持たずに子

ガイスラー農場　中庭

生乳運搬ローリー車
チーズ工場へ搬入

肥育中の子豚

乳牛　メス

豚を買ってきて肥育する飼育方法を選択している。

乳牛のメス牛は繁殖用として搾乳が行われ、１日７００～８００ℓの生乳が搾られている。

乳量としては多くないが、生乳価格が下がっていることも含め、搾乳することが重要なのではなく家畜が出す糞尿を利用しバイオガス施設で必要となる堆肥を製造することを本来の目的としている。オス牛は７００kg程度まで肥育し肉用として出荷される。

飼料用のトウモロコシ等は２／３は自家生産し、１／３は購入している。仔牛にはミルク等を混ぜ、発育に応じてコンピュータ制御（ミルクと水量など調整）で自動的に与えられる。

バイオガス施設は２０１０年に地域の暖房を安価に賄うことを目的として建設された。ガスの原料は家畜の糞尿とトウモロコシである。両方の原料を

バイオガス施設外観

自農場で生産していたこともあり、コストを抑えることが可能ではないかという考えがきっかけとなった。

施設では、８ｔの牛糞に12～15ｔのトウモロコシ、し尿４ｍ３の割合で混合し、バクテリアにより51～53℃で発酵させ、発生したメタンガスを利用して発電機を動かし電力を生み出す。また、発酵済みのトウモロコシは肥料として再利用している。

発電機サイズは、夏場２５０kW×１基に対して、暖房による消費量が増加する冬場は２５０kW×１基＋５００kW×１基となる。年間平均で国の規制範囲内５００kWになるよう考えられている。

この施設で発電された電力は、地域の住宅約40戸と小学校などの公共施設へ供給され、余剰分は電力会社へ売電されている。今後は施設の増設により事業拡大していく予定である。

ガイスラー氏のてん菜圃場も視察した。畑作１２０haの内、てん菜の作付

けはわずか５haのみであり、主要作物の代替として栽培されている。基本的にはトウモロコシが重要な作物として考えられている。直播栽培（畦幅50cm・株間18～20cm）３月下旬～４月上旬播種、９月下旬～12月下旬収穫で、平均反収７～８ｔ、糖度18～19％、発芽率は90％以上である。施肥は播種前に窒素を反６kgのみ。雑草防除は早期に２回実施するのみ、気候の影響なのか品種の違いなのかは不明だが、病害虫は発生しないらしく防除もする必要がない。てん菜は手間もかからず経済的に非常に優秀な農作物と考えられている。

収穫作業についてはコントラを利用。５ha程度のてん菜のために機械投資は出来ないと考えており、定植作業は自ら行うが、収穫作業は下請けに出している。

この圃場で収穫した甜菜から製造される砂糖は、地元の有名なチョコレート会社へ出荷されている。

❹ハイカン
６月27日
スウェーデン（マルメ郊外）
説明者　モーカン氏

生産者組合ハイカンは経営者のベントニルソン氏を中心に従業員12名、３戸の農家が共同で農作業を行っている生産者組合である。経営面積は１，４００haと広大であり、秋小麦・春小麦・なたね・飼料用豆・てん菜を作付けしている。てん菜は３００ha前後作付けされており、直播栽培（畦幅50cm・株

間20㎝）3月下旬～4月上旬播種、9月下旬～12月下旬収穫で、平均反収9t、糖度17～18%、反収は10tを超えることもある。

ティルゴッド社は長年にわたり除土積込機を開発・生産してきた。これまでに無かった大容量であり、かつ穏やかな除土作業を可能としたのが、現行機のTR9である。

除土積込機は牽引式と自走式があり、圃場に石等の異物が多い場合は、TR9のような牽引式を使用するケースが多い。（スウェーデンは比較的石の多い圃場が目立つ）

圃場に積み上げられたてん菜を、ショベルがすくい上げTR9のホッパーへ投入。ホッパーのサイズは横幅もあるため作業はやり易い。ホッパー底部には除石機能が装備されている。ホッパーからゴムベルトで除土ローラーへと流されたてん菜は綺麗に除土され積み込み用エレベーターを通って運搬車輌へとスピーディー且つ正確に積み込みされる。

てん菜除土積込機　ティルゴットTR9

所有している除土積込機を操作しながら機械の概要や操作方法などの説明を受けた。除土積込機の使用は今年で3シーズン目になり、修理や部品交換などのメンテナンスは自分達で行っている。移動方法はホイルローダーで牽引している。処理量は通常160t／h前後で、1日当たり1，280tとなる。また、圃場条件により処理速度は調整することが可能である

すべての機能がリモート制御されており、運搬から積み込みまでスピーディーに行うことが可能である。必要に応じて手動でもOK。標準でリモコンが3つ装備されている。機械操作は2台のリモコン（1台は予備）で行い、1台は機械オペレーターが操作し、もう1台は運搬車が積み込み作業に使用している。

積み込まれた原料は、約50㎞離れた製糖工場へ搬入される。1台で40t積み込むことが可能なトラック8台が1日4往復する。

9月下旬～1月中旬まで積み込み作業は続くが、除土積込機自体は、雪が降っても問題なく使用可能である。但し、気温がマイナス5℃を下回る場合は、朝一の暖気運転が必要不可欠となる。

除土の動作は2段階に分けて行う。第一除土は、ゴムローラーと鋼ローラーが重なっている3ヶの逆転バネで高い除土能力を誇る。第2除土は6ヶの鋼製ローラーで行い、ローラー間に石が挟まった場合、自動的に反転する除石機能も備えている。

自動潤滑油装置が標準装備される。

積み込みエレベーターは旧型よりも1m延長エレベーター部分され、幅も90㎝になった。軽量化及び容易に交換出来るようプラスチック製のキャッチャーが採用されている。積み込み口2.5m部分は運搬車輌の高さに合わせ微調節することが可能である。

作業時には前方と後方にある大きな鋼製油圧安定器が安定性を確保する。

高速タイヤが採用され、積み込み地点間の移動も早い。

暗い時間帯に安全且つ正確に積み込めるようにLEDの作業灯・警告灯が標準装備されている。

当地区は粘土質の圃場が多く、使用後放置しておくとコンクリートの様に固くなるため、1日の作業が終了後、念入りな清掃に努めている。

これらの機械は日本においては、個人で所有出来るようなものではなく、コントラ組合や大型の協業型法人向けといった印象である。実際にスウェーデンでは除土積込機を複数台所有しているコントラ組合が活躍している。

❺ボーゲビーファルトダガー
6月28日
スウェーデン（マルメ郊外）

年一度開催される農業機械展で農機メーカーだけではなく、農薬・種苗・

資材関連の農業に関係する膨大な数のメーカーが集結し、それぞれの製品をPRする実演会など、様々なイベントが開催されていた。

大変な盛況ぶりであり、その開催規模の大きさには驚くばかりである。また平日にもかかわらず学生や家族連れが多く、地元のお祭りのような雰囲気があった。おそらく地域の人達にとって農業は身近なものなのであろう。

会場入口にて

❶アンガバレンスガード
6月28日
スウェーデン（マルメ郊外）
説明者　アクセル氏

化学肥料や農薬を一切使わない有機農業を行っている農家。自身で栽培した作物と、それらを使った加工品製造、そして飼育している家畜の肉を使用した料理を提供するレストランも経営されている。

耕作地は２００ha所有し、レストランで使う野菜・穀物等を栽培している。家畜についても牛１００頭（乳、肉牛）豚１００頭、羊２００頭を飼養しているが、抗生物質・ホルモン剤等は使用していない。

一部の飲料以外のすべて農畜産物を自農場において生産から収穫・加工、それらを販売する飲食店・直売所も経営、家畜を屠殺する施設までも敷地内に造り、すべての工程を自身で行う一貫したこだわりの経営である。

今回の視察研修では、ドイツ・スウェーデンの貴重な農業実情に触れることが出来、大変有意義な研修でした。最後に、このような機会を与えていただきました当ＪＡならびに関係機関の皆様、現地の皆様に感謝申し上げ、海外視察研修の報告とさせていただきます。

ハウス有機野菜

南　瓜

肉　牛

豚

直売所も経営

アクセル氏からの説明

理事会レポート
第7回8/24開催

組合員状況 ８月末日現在

組合員数		前月対比
正組合員	441名	（±0）
（内13法人含む）		
戸　数	292戸	（±0）
准組合員		
団　体	157団体	（±0）
個　人	258名	（±0）

＝協議報告事項＝

1．美幌広域連通常総会について

2．クレードル食品㈱取締役会について

3．地区懇談会の顛末について

4．出資団体からの平成28年度配当金内訳について

5．反社会的勢力等との取引廃除・顧客情報システム定期確認について

6．平成２８年産食用馬鈴薯・玉葱の本精算について

7．平成２８年産秋掘長芋の本精算について

8．平成２９年産澱粉原料用馬鈴薯概算単価の設定について

２９年産澱原馬鈴薯概算金単価が下記の通り決まりました。

①専 用 種（コナフブキ）ライマン１%当たり　３１円（前年３１円）

②非専用種　　ライマン１%当たり　２９円（前年２９円）

9．平成２９年産麦類の受入状況について

品　　種	平均粗原反収
きたほなみ（種子・一般合計）	１１.１俵
ゆめちから（種　子　の　み）	１１.１俵
春　よ　恋（種子・一般合計）	７.１俵

注）反収は、乾燥推定重量での試算です。

10．平成２９年度原料てん菜受渡し並びに測定に係る立会人の選任について

曽根理事・湯浅理事・岡内理事・髙橋理事・石川理事が選任されました。

11．平成２９年度畜産環境整備リース事業に係る再貸付契約の締結について

12．特定組合員のクミカン見直し中間報告について

13．その他

１）渡邊組合長の株式会社グリーンズ北見取締役社長就任について

７月３１日に行われた株式会社グリーンズ北見の取締役会にて、渡邊組合長が代表取締役社長に就任されました。

8月20日開催北見黒毛和牛市場成績

（価格　円）

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	804,685	872,596	816,145	911,569
	出場頭数	207	210	31	22
	成立頭数	165	195	29	22
雌牛	平均価格	656,590	742,230	673,749	780,098
	出場頭数	167	136	19	16
	成立頭数	129	132	19	16

※価格は1頭平均・税込価格

キラキラ青年部 ～青年部紹介～

山谷公太（やまたにこうた）

30歳・B型
本郷地区

●**就農年数**
9年

●**趣味・特技**
映画鑑賞

●**好きな女性のタイプ**
嫁さん

●**最近ハマっていること**
子どもの知育おもちゃめぐり

●**農家をやってよかったこと・感動したことなど**
食に困らない。

●**今後の目標**
増収

～続・今こそJA～

第1回 ロッチデール原則がすべての原点

18世紀後半、イギリスで産業革命が起こり、資本家や富裕層という人達があらわれました。街中には粗悪品があふれ、量目のごまかしが横行しており、ロッチデールという小さな町の織物職人がその生活を守るために「ロッチデール公正先駆者組合」を設立しました。彼らは協同組合として自ら守るべき事項を定めており、これがその後「ロッチデール原則」と呼ばれるものとなりました。ホリヨークという人が書き留めたロッチデール原則は次の14の項目から成り立っています。

①組合は主として、自らの出資金により開店する。
②可能な限り、純粋な食料品を供給する。
③目方や分量をごまかさない。
④市価で販売し、商人と競争しない。
⑤掛け売りをせず、労働者の負債を防止する。
⑥剰余は購買高に応じて、組合員に分配する。
⑦組合員をして利益を組合の銀行に貯蓄せしめ、節倹を教える。
⑧出資金に対する利子を5％に抑える。
⑨職場において得た利益は、賃金に比例して分配する。
⑩全余剰の2.5％を教育に充てる。
⑪役員の任命や議決に対し、1人1票の民主的評決権を持つ。
⑫犯罪や競争のない産業社会を建設するため、協同組合の商工業を発展させる。
⑬卸売購買組合を創設し、純良確実な食料品を供給する。
⑭協同運動を自助の精神で行い、勤勉な者に道徳と能力を保証する新しい社会の胚種の組織とする。

この14項目をすべて守ることが協同組合として必要なことであり、このどれか一つでも欠けてはいけないものです。次回以降はこの各項目について解説することにします。

発行／女満別町農業協同組合　編集／営農部営農課　〒〇九九－二三二四　網走郡大空町女満別西四条五丁目一番二十七号　☎代表（〇一五三）七四－二一三一　印刷／有限会社サンケイプリント社

JAバンクをご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。
このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

※コンビニ等のＡＴＭも使用できませんので、前日までにご利用して下さい!!

平成29年（2017）9月16日（土）・17日（日）

平成30年（2018）1月 6日（土）・7日（日）・8日（月祝）

休止させていただくサービス

JAバンクのATM
JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス

JAネットバンクサービス
パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス

コンビニ等のATM
JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス

デビットカードサービス
デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済

現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申しあげます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンクホームページ　http://www.jabank.org/

JAバンク北海道